1 事業者の氏名等

 事業者の氏名
 葛飾区

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)
 葛飾区長青木克德

 事業者番号A0864

2 報告する事業所等の全体の状況(2022年度の状況)

_		-			
条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数			原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	0	事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	6,312	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評	価	対	象	事	業	所	等		義務提出事業所等		全事業所
---	---	---	---	---	---	---	---	--	----------	--	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
合計二酸化炭素排出量	6,584.00	6,438.00	5,705.00	5,653.00	6,312.00	t
合 計 延 床 面 積	117,406.70	117,259.11	114,165.14	116,783.93	119,012.08	m²
合 計 原 単 位	56.07857	54.90404	49.97147	48.40563	53.03663	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	1.04	%
平均合計原単位改善率	1.38	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 数		事業所
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 率	30	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	優良	ランク

(日本産業規格A列4番)

_	
Q	実績年度の目標達成の状況
()	

実目	績 標 達	年成	度 の 状	の 況		目標達成した。
----	----------	----	----------	--------	--	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標	Ø	有	無□	有		無		
合計二	酸化质	炭素	非出量	_ (削)	或 率			%
合 計	原	単位	立改	善	率			%
再生可能	とエネ.	ルギー	-導入	事業原	沂 率			%
そ		の			他	特記事項	頁に内容を	記載

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル

11 事業者としての取組

取組方針

葛飾区では、「葛飾区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」(令和4年度~令和12(2030)年度)を策定し、電気やガスなどのエネルギー使用量、(ごみの排出量及びガソリン等の燃料の使用量)について削減目標を定め、平成25年度を基準年度として、2030年度までに削減すべき目標値を設定している。令和4年度は本計画に基づき、空調の温度管理の徹底、昼休みの消灯やこまめな消灯、パソコンの省電力設定などソフト面での取組を継続するとともに、施設整備・改修計画に基づき、従来型蛍光灯や空調機の高効率化など省エネ改修を実施し、エネルギー使用量の削減を図った。推進体制としては、区長を本部長、副区長を副本部長とする環境行動推進本部(環境行動推進本部幹事会)を設置し、全庁的な連携・調整を図るとともに推進状況の点検・評価、公表等を行い、環境への負荷の一層の低減を目指した。

組織体制整備の場	•

	重点対策		その他対策
対策番号	対策名	対策番号	対策名
A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
A102	温暖化対策推進担当の配置	A105	取組内容や点検体制の定期的改善
A103	具体的な取組目標と内容の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供
A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A108	組織横断的な推進体制の整備
		A109	都などの無料の相談機関の利用
		A116	所内会議・研修会等で報告

12 特記事項

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	総合	合庁	舎																
事	業	所	番	号	Α	0	8	6	4	_	0	0	3	0									
															4			-					
					₹	1	2	4	_	8	5	5	5	区	市	町	村	名	東京都葛	飾区			
事	業所	等の	所 在	:地	町。	名 番	争地	47		1.0	-												
					以		下	五七	ī5—	13-	1												
車	業所等	£ 00 2	征床る	話語		17	,093	40	2	事	業 彦	等	Ø :	実績	績	年	度		■ 1年度		Г	7 1	年未満
7	* 171 =	F ()	ш // ш	山 作貝		11	,090	.43	m	工	ネル	ノギ	_	使	: }	1	期	間	■ 1 11 5	えり		_ I.	十八個
所	有		形	態		自己	那	有] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナン	ント	、)			〕建物の)一部	3(そ	· の ft	也)
40	4L 66 177	- `	.). 🛶 🖯	п 🔨		事務	所					商業	能能	没(4	物具	仮)] 商業施	i設(f	飲食	:)	
報	告範囲	の主	こたる月	月途		工場						複合						Г	」その他			•	
	→ +== ·	※ 六	· 개 //	भक्त		J-'//	0					124 L	ne.					_	- C 42 E	1			
	本標				9	8	2	1	連	鎖化	(事業	美区2	分		Ц	重崖	店		□ 加盟	店		■ ∌	丰該当
	生可能					再生	可能	エネ	ルギ	_		再生	可能	ニエン	ネル	/ギ	一雷	i.	_ 証書	による	環境	竟価	値
の	一利	用	状	況				の設			Ш	気の				•	.,	_	ロの利		0 0 1 0	/Ц јщ	
<u> </u>	左车	ω ±r	1 # #	,崇																			
別か	年度らり)谷 点																			
1)1	9 V	ノ 多	文 史	六																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 628	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 1,218	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 24	t
	総計(④=②+③)	④ 1,242	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 71.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
.[4]	都市ガス			Nm^3	121,204.0	45.00	5,454.2	0.0136	272.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,935,166.0	9.76	18,887.2	0.4890	946.3
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 24,341.4		1,218.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	27,328.0			0.2660	7.3
他	公共下水道			m^3	43,074.0			0.4000	17.2
		合 計							24.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

4 .	地球価唛化刈床		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
Илт И	以下的 V 走 M				
~ `	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	運用対策			CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
省				CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
エ				CA15	不要な機器の電源オフ
ネル				CA25	その他設備の不使用時の停止
ギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
714					
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E141	太陽光発電設備の導入
	取 佣 导 八 刃 束			E124	更新に合わせた高効率機器の採用

|--|

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	•	-

6	特記事項				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	男女	女平	等推	推"	セン	ター													
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	3	1									
					₹	1	2	4	_	0	0	1	2	区	市	町	村	名	東京都葛	飾区			
事	業所	等 ∅	所在	E 地	町夕以	名番	新地 下	立石	ī5—:	27-	1												
事	業所等	争の)	延床面	面積		2	,411	.96	m^2		業 ア ネ ル	等シギ	の <u>;</u> :	実 á 使	漬	年] :		の間	■ 1年月	度分] 1 ⁴	手未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者別	有											
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)一音	邪(ラ	ーナン	ント)			〕建物の	一部	3(そ	の他	1)
也	告範囲	I M F	ーたスト	日之		事務	务所					商業	(施言	没(集	勿則	叉)] 商業施	起設(角	飲食)	
丰以	口型匠	リマノゴ	11-07	力还		工場	型が					複合	施調	没					■その他	Ĺ			
に	本 標 おける	細	分類種	16号	9	5	1	1	連	鎖化			-			〔営			□ 加盟	店		非	該当
再の	生可能	とエ 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			三可能 記設備			_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書の利	による 用	環境	き価値	直
前か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	109	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	212	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	4 213	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 87.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (D)=(8)×(9)×44/12
.LAL	都市ガス			Nm^3	34,087.1	45.00	1,533.9	0.0136	76.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者の乗り取り	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	278,055.0	9.76	2,713.8	0.4890	136.0
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,247.7		212.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,711.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,711.0			0.4000	1.1
		合 計							1.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 :	地球温暖化対策	C TO D C N EI V	重点対策		その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名			
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善			
組糸	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備			
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握			
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用			
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108 温度計等による室温の把握と				
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化			
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止			
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯			
	運用対策			CA05	温度計等による室温の把握と調整			
省				CA06	季節に応じた外気導入量の適正化			
ロエ				CA15	不要な機器の電源オフ			
ネル				CA25	その他設備の不使用時の停止			
ギー 対策	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換					
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)					
	責年度の目標達成 提出年度の地球 標 の 有 無	温暖化対 有	無無		NGD Date			
目標	票値等(選択)		は(延床面積当たり) kg-Co	O_2/m^2 CO_2	削減率(前年度比) % 排出量(総量) t			
		その他	特記事項に内容を	記載				

1 事業所等の概要

事	業彦	デ 等	の名	3 称	青月	⋾地	区も	こンら	7 —													
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	6								
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	2	区	市	町	村:	名	東京都葛飾	区		
事	業所	等の)所ィ	在 地	町。	名番	地 下	青戸	ī5—:	20-	6											
事	業所等	等の	延床	面積		1	,787	.01	m^2		業		の 	実 🤅 使	漬 ² !	年,		の 間	■ 1年度分	}		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	1所	有] 他	1.者页	斤有										
報	芒	î	範	囲		建物	カの <u>1</u>	全部		〕建	物の)—≒	邪(ラ	ーナ	ント)] 建物の一	·部(その	他)
却	告範囲	目のゴ	ニたス	田诠		事務	所					商業	É施詞	没(4	物則	į)			〕商業施設	분(飲	食)	
十八						工場	<u>∃</u> 77					複合	施	設					その他			
	本 標 おける	5細	分類	番号	8	2	1	1	連	鎖化	(事業	業区 2	分		直	[営	店		□ 加盟店	i		非該当
再の	生可能	能エ 用	ネル・ 状	ギ ー 況				ピエネ すの設	ベルギ と置	_		再生 気の			ネル	ギー	-電		□ 証書に の利用	よる現	環境征	话值
前か	年度らら		设告 F 变 更																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	⁽¹⁾ 45	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 88	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 89	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 49.2	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.1441.	都市ガス			Nm^3	1,621.1	45.00	72.9	0.0136	3.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	173,316.0	9.76	1,691.6	0.4890	84.8
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,764.5		⁽¹⁵⁾ 88.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,729.0	/		0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	2,229.0			0.4000	0.9
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	金田	丁地	区セ	ニンら	7—														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	8									
					₹	1	2	5	_	0	0	4	2	区	市	町	村	名	東京都葛蝕	市区			
事	業所	等の	所 在	E地	町以	名番	争 地 下	東金	:町1	-22	-1												
事	業所等	争の	延床面	面積		1	,861	.32	m^2		業 所 ネ ル	「等 _ン ギ	の <u> </u>	実 á 使	責 ³ 用	手 月		の間	■ 1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		〕他	者所	痯											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナン	/F))			〕建物の-	一部	(その	り他)	
扣	告範囲	I M F	ーたスト	日冷		事務	新					商業	(施	没(牛	勿販	į)] 商業施	設(食	欠食)		
郑	口則世	リリノゴ	11007	力还		工場	ヨ					複合	施調	没					■ その他				
日に	本 標 おける				8	2	1	1	連	鎖化	/事業					営			□ 加盟/	吉		非認	核当
再の	生可育	ピエ 用	ネル ^は 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ 置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電		□ 証書に の利用		環境	価値	
前か	年度らの			容点																			·

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	98	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 1	t
	総計(④=②+③)	<a>99	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	52.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	21.3	45.00	1.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	201,336.0	9.76	1,965.0	0.4890	98.5
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,966.0		98.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,680.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,680.0			0.4000	0.7
	-	合 計	`						1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	柴又	又学	び交	で流角	館														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	9									
					Ŧ	1	2	5		0	0	5	2	区	市	町	村	名	東京都葛蝕	布区			
事	業所	等 σ	所 在	E 地	町以	名番	* 地下	柴又	(5-	33-	8								•				
事	業所等	争の	延床面	面積		2	,506	.14	m^2		業 ア ネ ノ		の <u>;</u>					の間	■ 1年度	分		1年5	未満
所	有	•	形	態		自己	2所7	有		〕他	者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)一岩	羽(ラ	ーナン	ント)] 建物の	一部	(その	の他)	
华口	告範囲	I M F	ーたスト	日次		事務	新					商業	(施)	没(集	勿則	叉)] 商業施	設(食	欠食)	1	
和	口型匠	リッコ	11-07	力还		工場	型が					複合	施調	没					■その他				
	本 標 おける	細	分類種	16号	8	2	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直	宜営	·店		□ 加盟/	吉		非該	善
再の	生可能	ピエ 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ 世			再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書に の利用		環境	価値	
前か	年度ら			容点																			·

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 48	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	93	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	93	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
.[4]	都市ガス			Nm^3	18,029.1	45.00	811.3	0.0136	40.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	108,008.0	9.76	1,054.2	0.4890	52.8
規貝	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,865.5		93.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	933.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	933.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	垒	の名	称	水 =	テ学	アドオ	ぶ流色	泊														
7	* //	-11	V 7H	\\/\1.	/1//	<u> </u>		~1/ILI	神														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	2	4				_					
	VII. ———		1		Ŧ	1	2	5	_	0	0	3	5	区	市	町	村	名	東京都葛原	飾区			
事	業所	等 0) 所在	地	町夕以	名番	争 地 下	南水	元2	-13	-1												
事	業所等	争の	延床面	ī積		4	,441	.34	m^2	事	業 ア ネ ノ		の 					の間	■ 1年度	5分] 1年	手未満
所	有		形	態		自己	2所7	旨] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)一音	邪(ラ	ーナン	ント	.)			〕建物の	一部	(そ	の他)
共口	告範囲	(a)	ーたフロ	口公		事務	新					商業	能	没(华	刎	反)] 商業施	設(負	次食)	
羊区	口即进	リリノユ	こに公月	力还		工場	ヨ					複合	施調	没					■その他				
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	2	1	1		鎖化						直営			□ 加盟	店		非	該当
再の	生可育	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書はの利用		環境	色価値	Ī
前 か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 66	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 5	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 28.8	${\rm kg-CO_2/m^2}$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の)種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	3m(1 d ->	三次1	使用	1 124	6	7	(3)/ (8=(6)/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
.[.4:].	都市ガス			Nm^3	34,026.2	45.00	1,531.2	0.0136	76.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	106,537.0	9.76	1,039.8	0.4890	52.1
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,571.0		128.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,853.0			0.2660	2.4
他	公共下水道			m^3	8,853.0			0.4000	3.5
		合 計							5.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策名 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 A203 具体的な取組目標と内容の設定 A204 取組状況の点検体制の構築 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B105 エネルギー等の B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C114 事務用機器を省エネモードに設定 事務用機器を省エネモードに設定 方	対策名	\$号 文	対策番号	対策名				
A203 具体的な取組目標と内容の設定 A204 取組状況の点検体制の構築 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 C114 事務用機器を省エネモードに設定 T2ネルギー 対策 設備 保 守 対策 設価 保 で 対策 設価 保 で 対策 以						対策番号		
組織体制の整備				進担当の配置	温暖化対策推	A202		
A204 取組状況の点検体制の構築 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 C114 事務用機器を省エネモードに設定 B105 アンブ等の定期的な清掃・交換 設備 保 守 対策 設備 保 市 変換 シング				目標と内容の設定	具体的な取組	A203	かん 生 の 軟 生	⁄□ €
B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105				検体制の構築	取組状況の点	A204	戦 14 刑 17 登 1用	批が
B102 関連他者からの情報を加えて把握 B105								
使用状況の把握				な情報に基づく把握	自ら入手可能が	B101	クルギー体の	
B105 エネルギー使用量の前年度比較 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 C114 事務用機器を省エネモードに設定 運用対策 D101 ランブ等の定期的な清掃・交換 設備保守対策 設備保守対策 設備保守対策 表積年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)				の情報を加えて把握	関連他者からの	B102	ドルキー等の目状況の把握	上り
C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C109 空室・不在時等の空調停止 C114 事務用機器を省エネモードに設定				用量の前年度比較	エネルギー使用	B105	14 14 12 12 12	,
で C109 空室・不在時等の空調停止				ទ のこまめな消灯	空室•不在時等	C101		
正 用 対 策 ②				都の推奨値へ変更	冷暖房温度を	C106		
選用対策				等の空調停止 アンティア アンティア アンディ アンディ アンディ アンディ アンディ アンティ アンティ アン・マング アン・アン・アン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	空室•不在時等	C109		
省エネルギー 対策				省エネモードに設定	事務用機器を	C114		
エネルギー 対策							運用対策	
エネルギー 対策								省
ルギー 対策 設備保守対策 設備導入対策 表稿年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有無無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)								エ
ぎ D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 設備保守対策 設備導入対策 □ 目標達成した。 目標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 一								
D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 設備保守対策 設備導入対策 目標達成した。 日標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)								
策 設備保守対策 設備導入対策 支護年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 1				明的な清掃・交換	ランプ等の定期	D101]
設備導入対策 支 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表							設備保守対策	対等
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)							以 洲 水 寸 刈 水	來
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)								
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)								
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)							設備道入対策	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)							以 州 守 八 八 水	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)								
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				+1 <i>+</i> -	口口描法	TO HAD	を生産の日標法式	中 ⁄
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無				以した。	日保建成	<i>(</i> 少.(/) / (元	千良の日保達成	大 祁
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無					策の目標	え温暖化ま	是出年度の地球	5 7
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)								
	度比) %	CO。削減率(前年度比	СО	ランク			7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7, 7	
		CO ₂ 排出量(総量)					重信等(選択)	日桴
その他特記事項に内容を記載	·		-		(延水面積当たり)	_	(旧分(医)()	⊔ 1 7 ,
その他 村記事項に内谷を記載			百 乙取	村記事項に内谷を		ての他		
3 特記事項							符記事項	5 !

1 事業所等の概要

事	業彦	デ 等	の名	称	市月	民活	動支	泛援~	セン:	ター	•勤;	労福	私:	会館	1							
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	2	9				_				
					₹	1	2	4	_	0	0	1	2	区	市	町	村	名	東京都葛飾区			
事	業所	等の)所在	土地	町。	名番	争 地 下	立石	ī3-	12-	1											
事	業所等	等の	延床面	面積		2	,038	.00	m^2		業	「等 レギ	の :	実 á · 使	漬 ¹ 	年,		の 間	■ 1年度分		1年未	き満
所	有	Î	形	態		自己	1所	有] 他	1.者页	沂有										
報	芒	î	範	囲		建物	カのミ	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナ:	ント)] 建物の一部	『(その	の他)	
拉	告範囲	E OD T	トたスト	日次		事務	新					商業	纟施言	没(4	勿則	į)			〕 商業施設(飲食)	
和	口里位	ロマノコ	ニルント	力压		工場	型 ガ					複合	施	設					●その他			
	おける	5細2		拿 号	9	5	1	1	連	鎖化	(事業	業区2	分		直	Ĺ営	店		□ 加盟店		非該	当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエネ すの設		_		再生気の			ネル	ギー	-電		□ 証書による の利用	る環境	価値	
前か	年度らら	の 葬 の 多	设告内 変 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	⁽¹⁾ 59	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 115	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	(4) 115	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	56.4	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	12,492.1	45.00	562.1	0.0136	28.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	178,973.0	9.76	1,746.8	0.4890	87.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,308.9		115.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	646.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	646.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	地址	或産	業振	興:	会館	(テ:	クノフ	プラナ	げ か	つし	しか	<i>i</i>)							
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	7				_					
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	2	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区			
事	業所	等 ₫	所在	地	町。	名番	争 地 下	青戸	₹7-	2-1													
事	業所等	争の	延床面	ī積		6	,096	.87	m^2	事	業 ア ネ ノ		の <u>:</u>					の間	■ 1年度	分		1年ラ	未満
所	有	•	形	態		自己	2所7	有] 他	者別	洧											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナン	ント	.)			〕建物の-	一部	(その	り他)	
共口	告範囲	i on i	ーたス日	1 1/2		事務	新					商業	(施	没(集	勿具	反)			〕商業施調	没(食	欠食)	1	
羊区	口則世	リリノゴ	ニにつカ	力还		工場	灵					複合	施調	没					■ その他				
に	本 標 おける	細	分類番	号	9	5	1	1		鎖化						宜営			□ 加盟局	吉		非該	ぎ当
再の	生可育	ピエ 用	ネルキ 状	· 况			:可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電	i	□ 証書に の利用		環境	価値	
前か	年度らの		设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	43 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 4	72 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	1 t
	総計(④=②+③)	4	73 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77	$.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
.[./+].	都市ガス			Nm^3	38.7	45.00	1.7	0.0136	0.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	966,430.0	9.76	9,432.4	0.4890	472.6
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					9,434.1		¹⁵ 472.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,912.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,912.0			0.4000	1.2
	-	合 計	`	·					1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

その他対策 対策名 取組内容や点検体制の定期的改善 組織横断的な推進体制の整備 過去のデータによる傾向の把握 エネルギー等情報の対策への活用
取組内容や点検体制の定期的改善 組織横断的な推進体制の整備 過去のデータによる傾向の把握
組織横断的な推進体制の整備 過去のデータによる傾向の把握
過去のデータによる傾向の把握
エラルギー 学 棒却の 対策 への 活用
エイルイ 寺情報の対象がの活用
照明スイッチに点灯範囲を表示
昼休み時の消灯の実施
空調機スイッチに空調範囲を表示
事務用機器を業務終了時に停止
個人用端末の不用・離席時の停止
空室・不在時等のこまめな消灯
不要な機器の電源オフ
その他設備の不使用時の停止
セントラル空調のフィルター清掃
換気フィルターの清掃・点検
照明点灯範囲の細分化
照明用人感センサの採用
太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CC	O ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を	記載	

6	特記事項				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	葛飽	佈区	文化	公会的	館(た)7つ]	しか	シン	フォ	·二·	— t	ニル	⁄ズ",)					
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	3	2									
					Ŧ	1	2	4		0	0	1	2	区	市	町	村	名	東京都葛	飾区			
事	業所	等 0	所在	地	町以	名番	*地下	立石	ī6—:	33-	1												
事	業所等	等の き	延床面	ī積		18	,841	.35	m^2	事	業 ア ネ ノ		の <u>:</u> -					の間	■ 1年度	安分] 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者別	뒦						-					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	羽(ラ	ナン	ント)			〕建物の	一部	3(そ	の f	也)
北口	告範囲	i on i	ーたて日	1.2		事務	所					商業	(施)	殳(集	勿則	反)] 商業施	設(1	飲食	£)	
羊区	口即进	リリノユ	こに公开	力还		工場	크 7					複合	施調	艾					▮その他	ı			
に	本 標 おける	細	分類番	号	9	5	1	1		鎖化						I営			□ 加盟	店		■ ∌	丰該当
再の	生可育	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギー	一電	Ĺ	□ 証書の利		環場	竟価	値
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 52´	⁷ kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,022	2 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	5 t
	総計(④=②+③)	④ 1,02′	t t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 54.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.1441.	都市ガス			Nm^3	97,202.0	45.00	4,374.1	0.0136	218.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,645,151.0	9.76	16,056.7	0.4890	804.5
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 20,430.8		1,022.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,893.0			0.2660	2.4
他	公共下水道			m^3	8,893.0			0.4000	3.6
		合 計				/			5.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策	C TO DOME TO	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組糸	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA05	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策			CA15	不要な機器の電源オフ
省工、				CA25	その他設備の不使用時の停止
ネルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対 策	設備保守対策	D101	フィフ サックに効用がよ信仰・文侠		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E141	太陽光発電設備の導入
	設備導入対策	LIVI	同双平派917~ 7 *21水/11 (全自)	LITI	八 物 九 九 电 以 m ッ フ 守 八
実績	賃年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
5 目	是出年度の地球 標 の 有 無	は温暖化対	策の目標 ■ 無		
		ベンチマー	ク区分ランク	CO ₂	削減率(前年度比) %
目標	栗値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり) kg-C(O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容を		

1 事業所等の概要

_	J /1~//		,,																				
事	業所	等	の名	称	亀有	す文	化ホ	5 —)	レ														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	3									
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	1	区	市	町	村	名	東京都	 葛飾	<u>X</u>		
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	地 下	亀有	ī3-:	26-	1												
事	業所等	等の3	延床面	ī 積		6	,408	.00	m^2	事	業 ア ネ ノ	了等 レギ	の 	実 á 使	漬 [年 則 :		の間	■ 14	年度分	`		1年未清
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者別	뒦						-					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナ	ント	、)			〕建物	物の一	部(その)他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			物具	反)				美施設	(飲	食)	
					ш	工場	ग्र े				Ш	複合	·他i	文					その	7世			
に	本 標 おける	5細分	分類番	号号	9	5	1	1	連	鎖化	(事美	美区 2	分		П	直営	店		口加	1盟店			非該当
再の	生可能 利	指工. 用	ネルキ 状	· 况				エネ の設	ンルギ と置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電	Ĺ		E書に』 利用	よる珍	環境化	西値
前か	年度らる			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	180	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 349	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 350	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 54.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	52,508.7	45.00	2,362.9	0.0136	117.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	473,008.0	9.76	4,616.6	0.4890	231.3
規貝	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					6,979.4		⁽¹⁵⁾ 349.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,917.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,917.0			0.4000	0.8
		合 計							1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	東四	<u></u> 「つ	木工	場は	ゴル														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	9									
					Ŧ	1	2	4		0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都葛	飾区			
事	業所	等 ∅	所在	地	町以	名番	* 地下	東匹	一つ木	:1-:	22-	1											
事	業所等	等の き	延床面	ī 積		3	,970	.96	m^2	事	業 ア ネ ノ		の 					の間	■ 1年度	度分] 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	1所7	旨] 他	者別	有											
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナ	ント	·)			〕建物の	一部	3(そ	の他	1)
和	告範囲	i on t	ーたス日	日次		事務	务所					商業	(施)	没(4	物則	反)			〕商業施	設(角	飲食)	
丰区	口型团	リッコ	11に公月	力还		工場	型が					複合	施	没					■その他	ı			
に	本 標 おける	細	分類番	号	6	9	1	1		鎖化						直営			□ 加盟	店		非	該当
再の	生可育	もエ 用	ネルキ 状	 況			:可能 記設備		ルギ 置			再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書の利		環境	き価値	直
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	104	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	202	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 202	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	50.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
.1./1.1.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	414,576.0	9.76	4,046.3	0.4890	202.7
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					4,046.3		202.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,166.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,336.0			0.4000	0.5
		合 計							0.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	観シ	七文	化セ	こンら	7 —(寅さ	ん言	2念:	館)									
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	0								
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	5	2	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区		
事	業所	等 ∅	所 在	地	町以	名 番	* 地下	柴又	(6-)	22-	19											
事	業所等	等の)	延床面	ī積		1	,737	.55	m^2	事	業 ア ネ ル	了等 レギ	の <u>:</u> -					の間	■ 1年度分	}		1年未満
所	有		形	態		自己	2所7	有] 他	者別	桁						-				
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)—‡	羽(ラ	ーナン	ント	·)] 建物の一	部(その	他)
华口	告範囲	i on i	ーたて日	1.2		事務	新					商業	(施)	没(4	物則	反)] 商業施設	(飲	食)	
羊区	口則世	リリノゴ	こにの月	力还		工場	灵					複合	施調	設					その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	9	5	1	1			/事業					直営			□ 加盟店			非該当
再の	生可育	とエ 用	ネルキ 状	· 況			:可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書に。 の利用	よる現	環境化	话值
前か	年度らの			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 67	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 130	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	(4) 131	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 74.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	10,100.6	45.00	454.5	0.0136	22.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	219,881.0	9.76	2,146.0	0.4890	107.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,600.6		130.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,163.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,163.0			0.4000	0.9
	-	合 計	•						1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	清排	帚事	務所	新	官分	室												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	1								
					₹	1	2	5	_	0	0	5	1	区	市	町	村	名	東京都葛飾区	<u> </u>		
事	業所	等 σ.	所 在	土地	町。	名番	争 地 下	新宿	i3-	17-	5											
事	業所等	争の	延床面	面積		1	,405	.52	m^2	事	業 ア ネ ノ	等シギ	の <u>:</u> -	実 絹 使	漬 [年 月 :	度期	の間	■ 1年度分] 1 ²	年未満
所	有	•	形	態		自己	2所7	有		〕他	者別	洧										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部		〕建	物の)一岩	羽(ラ	ナ	ント	.)			□建物の一	部(そ	の他	<u>h</u>)
七口	告範囲	i on t	ーたスト	日之		事務	务所					商業	(施)	没(非	刎貝	反)] 商業施設	(飲食	ŧ)	
丰区	口型匠	リッコ	1. (a) F	力还		工場	型が					複合	施調	没					■その他			
	本 標 おける	細	分類種	多号		8	1	7	連	鎖化						直営			□ 加盟店	ı	■ 非	丰該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一官	Ē	□ 証書によ の利用	る環	境価値	値
前か	年度らの			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	⁽¹⁾ 54	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 104	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 5	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 73.9	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	新型 (1 2 1 1 1 m)	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	然行寺少	/1里刀门	使用	平匹	6	7	(GJ) 8=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
.[./+].	都市ガス			Nm^3	15,465.5	45.00	695.9	0.0136	34.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	143,708.0	9.76	1,402.6	0.4890	70.3
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,098.5		105.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,648.0			0.2660	2.3
他	公共下水道			m^3	8,648.0			0.4000	3.5
		合 計							5.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

	7/\/	\ 1 \ .1 \ .	- 194																			
事	業彦	- 等	のり	名 称	シニ	ニアネ	舌動	支担	受セン	ノター	_											
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	3	3								
	, MA	<i>t</i> -t		<i>t</i>	Ŧ	1	2	4	_	0	0	1	2	区	市町	· 村	名東	東京都	葛飾区	-		
事	業所	等 0)所	在地	町:以	名番	新地 下	立石	ī6—	38-	11											
事	業所	等の タ	延床	面積		2	2,248	.00	m^2		業 所 ネ ル				責 年 用		の 間	■ 1年	E度分]1年	未満
所	有		形	態		自己	1所	有] 他	1.者列	痯					_					
報	生生		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)一音	羽(ラ	ーナン	/ト)			建物	\(\mathcal{D} \rightarrow \frac{1}{4} \)	部(そ	の他)
報	告範囲	の主	こたる	用途		事務工場						商業 複合			勿販)				施設(飲食	:)	
日に	本標おける					5	4	9	連	鎖化	二事第				直営	営店	[盟店		非	該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル 状				三可能 記設備			_		再生 気の			ベルギ	一電	Ĺ [書によ 利用	る環境	竟価値	Ī
前か	年度らら	の か 変																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 48	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	94	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	<a>97	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 41.8	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12	
.[./+].	都市ガス			Nm^3	9,170.7	45.00	412.7	0.0136	20.6	
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び熱	その他()				0.0					
200	その他()				0.0					
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	151,000.0	9.76	1,473.8	0.4890	73.8	
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		合 計					1,886.4		94.4	
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,547.0			0.2660	1.2	
他	公共下水道			m^3	4,547.0			0.4000	1.8	
		合 計							3.0	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対策	C TO DOME TO	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組糸	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA05	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策			CA15	不要な機器の電源オフ
省工、				CA25	その他設備の不使用時の停止
ネルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対 策	設備保守対策	D101	フィフ サックに効用がよ信仰・文侠		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E141	太陽光発電設備の導入
	設備導入対策	LIVI	同双平派917~ 7 *21水/11 (全自)	LITI	八 物 九 九 电 以 m ッ フ 守 八
実績	賃年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
5 目	是出年度の地球 標 の 有 無	は温暖化対	策の目標 ■ 無		
		ベンチマー	ク区分ランク	CO ₂	削減率(前年度比) %
目標	栗値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり) kg-C(O_2/m^2 CO_2	排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容を		

1 事業所等の概要

事	業彦	デ 等	の名	称	地址	或福	祉•	障害	者も	コンク	ター											
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	2	8								
					Ŧ	1	2	4		0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都葛飾区	-		
事	業所	等の	所在	土地	町。	名番	地 下	堀切]3-:	34-	1											
事	業所等	等の	延床面	面積		4	,397	.30	m^2		業		の :	実 ¾ · 使	漬 ! 月	年月月	度期	の間	■ 1年度分] 1 ^左	F未満
所	有	Î	形	態		自己	1所	有] 他	1.者页	沂有										
報	告	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	テナ	ント)] 建物の一部	部(そ	の他	Ī)
扣	生	E OD T	こたる月	日次		事務	所					商業	纟施言	没(4	物則	反)] 商業施設(飲食	£)	
羊区	口単位	日マノコ	ニにるカ	力还		工場	크 7					複合	施	設					●その他			
	おける	5細	€ 業 分 分 類 番	多号	8	5	5	9	連	鎖化	上事業	業区2	分		直	I営	店		□ 加盟店	ı	■非	該当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエネ すの設	ルギ 世	_		再生気の			ネル	ギー	一電	ì	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値	直
前 か			设告内 変 更	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	119	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	231	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 7	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 238	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 52.5	$kg-CO_2/m^2$

		五三 (1 :> 4	推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	燃料等の	種別	の 使用	単位	区/11里	VN 3X	(GJ)	係数	が山里 (t)
			区/13		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8)×(9)×44/12
燃	都市ガス			Nm^3	50,950.4	45.00	2,292.8	0.0136	114.3
料料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/\(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	239,802.0	9.76	2,340.5	0.4890	117.3
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					4,633.2		231.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	10,747.0			0.2660	2.9
他	公共下水道	_		m^3	10,747.0	/		0.4000	4.3
	_	合 計	·	·					7.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	类 示	丛	の名	私	加士	よっ^・	ニボ	<i></i>	\1 ·3	`												
7	未 //1	4	V) 1	421	医原	アノ ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<i>/</i> /	//	ノレル	1												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	4	1								
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	2	区	市	町	村	名	東京都葛飾	i区		
事	業所	等 0	所 在	地	町夕以	名番	地下	青戸	ī4-	15												
事	業所等	争の)	延床面	ī 積		2	,999	.00	m^2	事	業 ア ネ ノ		の -				度期	の間	■ 1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	旨] 他	者所	有										
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)— [₽]	邪(ラ	ーナン	ント	·)			〕建物の−	−部((その	他)
七	告範囲	i on t	ーたスH	1 次		事務	新					商業	(施	没(4	物具	反)] 商業施設	殳(飲	(食)	
干区	口単四	マノゴ	ニバニタカ	1 灰		工場	型 切					複合	施調	没					●その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	4	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ц	直営	店		□ 加盟區	ij		非該当
再の	生可育	とエ 用	ネルキ 状	ž 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一官		□ 証書に の利用		環境信	田値
前 か	年度らの			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	158	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	306	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	308	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 102.0	$kg-CO_2/m^2$

		田田山沙山柳	推計		/士田目	15. 半1.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	<i>𝔻</i> □	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.[.4:].	都市ガス			Nm^3	48,849.9	45.00	2,198.2	0.0136	109.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	402,338.0	9.76	3,926.8	0.4890	196.7
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	值 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 6,125.1		306.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,168.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	4,011.0			0.4000	1.6
	_	合 計	`	·					2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		の実施状	重点文	†策			その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号	- /	名
		A203	具体的な取組	目標と内容の設	定	A205	取組内容や点検体	制の定期的改善
組糸	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推進	体制の整備
) 13 htt -	B101	自ら入手可能	な情報に基づく	把握	B106	過去のデータによる	傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度は	Ú 較	B108	エネルギー等情報の	の対策への活用
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消火	Ţ	C115	事務用機器を業務	終了時に停止
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変	変更	C116	個人用端末の不用	・離席時の停止
		C109	空室•不在時等	等の空調停止		CA01	空室・不在時等のこ	まめな消灯
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA05	温度計等による室温	且の把握と調整
	運用対策					CA15	不要な機器の電源	オフ
省エネ						CA25	その他設備の不使	用時の停止
ルギー 対策	設備保守対策	D101	ランプ等の定算	/プ等の定期的な清掃・交換				
		E101	高効率照明ラ	ンプの採用(屋口	勺)	E105	照明用人感センサの	の採用
	設備導入対策					E141	太陽光発電設備の	導入
5	責年度の目標達成 提出年度の地球	:温暖化丸		成した。				
目	標の有無		無無		Ī	1	No. 15 h . day	
		ベンチマー	-		ランク		02削減率(前年度比)	%
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC	۵٬	02排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	内容を	記載		

(日本産業規格A列4	番)

1 事業所等の概要

								_														
事	業所	等	の名	称	白鳥	- 景保	育遠	Ē														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	2	6								
	業所	等の) 所 在	地	Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	3	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区		
事					町以	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I																
事	業所等	争の タ	延床面	ī積			683	.79	m^2	事	業 ア ネ ノ		の 					の間	■ 1年度分	子		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有		〕他	者別	洧										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ナ	ント)] 建物の-	-部(その	他)
土口	H M III	$a \rightarrow b$	・ナフ田	<u>م</u> ر د		事務	所					商業	能施	没(华	勿則	反)] 商業施設	분(飮	食)	
羊 权	報告範囲		炒土にる片		□ 工場 □ 複合施設 ■ その他																	
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	5	3	1	連	鎖化						Í営			□ 加盟店	î		非該当
再の	生可育	もエ 用	ネルキ 状	· 况			:可能 :設備		ルギ 置	Ţ		再生 気の			ネル	ギ	一電	Ĺ	□ 証書に の利用	よる弱	環境信	 面值
前 か	年度らり			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 73	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁴ 75	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 106.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	2,941.5	45.00	132.4	0.0136	6.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	135,835.0	9.76	1,325.7	0.4890	66.4
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽⁴⁾ 1,458.1		⁽¹⁵⁾ 73.0
その				m^3	3,598.0			0.2660	1.0
他				m^3	3,598.0			0.4000	1.4
	合 計								2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名			
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改			
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備			
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握			
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握			
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用			
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整			
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化			
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止			
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯			
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化			
省				CA15	不要な機器の電源オフ			
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止			
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換					
- 対		D101	フンク 寺の足朔町がは何神・久狭					
策	設備保守対策							
	設備導入対策							
実統	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。					
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標 の 有 無	温暖化丸	策の目標 ■無					
H	伝 V2 有 無	ロ ベンチマー		7 (0)	2削減率(前年度比) %			
Ηŧ	票値等(選択)							
□ 15	宗胆寺(迭代)				2排出量(総量) t			
		その他	特記事項に内容を	ど記載				
6	特記事項							
	148-17							

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	水ラ	元水	質消	化	セン	ター												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	1	2				_				
					Ŧ	1	2	5		0	0	3	4	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区		
事	業所	等 の	所 在	:地	町以	名番	* 地下	水元	公園]8-:	3											
事	業所等	争の多	延床面	ī積		1	,841	.59	m^2	事	業 ア ネ ノ		の 					の間	■ 1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	旨] 他	者別	有										
報	告		範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)一音	邪(ラ	ーナ、	ント	、)			〕建物の−	−部((その	他)
起	告範囲	n i	ナス日	日之		事務	务所					商業	能施言	没(4	物具	反)] 商業施記	殳(飲	(食)	
平区	口地四	マノエ	-/c'a//	1 (小		工場	型 切					複合	施	没					●その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号号	0	6	2	1		鎖化						直営			□ 加盟尼	1		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 记			:可能 記設備		ルギ 置			再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書に の利用		環境信	 面值
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	71	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 139	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 75.4	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	285,410.0	9.76	2,785.6	0.4890	139.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,785.6		139.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	636.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	636.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	重点交	対策			その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号		
		A203	具体的な取組	目標と内容の設	定	A207	排出状況の整理	・分析・提供
組組	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推	進体制の整備
т.	ネルギー等の	B101		な情報に基づく		B106	過去のデータによ	
	用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度は	ú較 ——	B108	エネルギー等情報	眼の対策への活見
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消燥	Ţ	C115	事務用機器を業績	努終了時に停止
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変	変更	C116	個人用端末の不	用・離席時の停止
		C109	空室•不在時等	等の空調停止		C129	季節に応じた温度	度設定の見直し
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA01	空室•不在時等の	こまめな消灯
省	運 用 対 策					CA25	その他設備の不信	吏用時の停止
エネル								
ギー		D101	ランプ等の定算	期的な清掃・交換	A			
対策	設備保守対策	D104	空調フィルター	-の清掃・点検				
	設備導入対策							
	情年度の目標達成 提出年度の地球	^找 温暖化素		成した。				
目	標の有無		無無		1			
⊢ 1:		ベンチマー			ランク		D ₂ 削減率(前年度比)	9
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CC)2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	内容を	記載		

1 事業所等の概要

事	業別	〒 等	の名	称	亀石	有南	駐車	垣場													
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	1							
					Ŧ	1	2	5		0	0	6	1	区	市	町	村	名	東京都葛飾区		
事	業所	等の)所有	E 地	町。	名番	地 下	亀有	ī3-:	26-	3										
事	業所	等の	延床	面積		11	,766	00.	m^2		業 ア ネ ル		の 		漬 [年 月:	度期	の間			1年未満
所	有	Î	形	態		自己	1所	有] 他	者別	斤有							-		
報	. <u></u>	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	邪(ラ	ーナ	ント	.)			□ 建物の一部	(その	他)
也	告範囲	日のう	ーたスト	丑之		事務	所					商業	纟施言	没(4	物則	反)			□ 商業施設(角	飲食)	
干区		ロマノコ	ニ/こ <i>つ/</i>	17.00		工場	<u>司</u> 刃					複合	施	没				I	その他		
	おける	る細さ		昏号	6	9	3	1	連	鎖化	(事業	業区 2	分		Œ	宜営	店	;	□ 加盟店		非該当
再の	生可利	能エ 用	ネルキ 状	ギー 況				ピエネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一官		□ 証書による の利用	環境促	话值
前か	年度ら		设 告 卢 变 更	可 容 点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	151	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	294	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	^④ 294	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 24.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	原数 ⑨	(t) (0=8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	602,486.0	9.76	5,880.3	0.4890	294.6
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁾ 5,880.3		⁽¹⁵⁾ 294.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	555.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	555.0			0.4000	0.2
	-	合 計	`						0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名			
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改			
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備			
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握			
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握			
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活			
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整			
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化			
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止			
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯			
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化			
省				CA15	不要な機器の電源オフ			
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止			
ルギー対		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換					
		D101	フィン 寺の足別印が信仰・文映					
策	設備保守対策							
	設備導入対策							
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。					
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無					
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)			
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t			
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)			
		その他	特記事項に内容を	ど記載				
6	特記事項							
0	11110年1天							

1 事業所等の概要

	7 /10		17-2	<u> </u>																				
事	業別	千 等	の名	称	金町	丁南	駐車	垣場																
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	4	0				_						
					Ŧ	1	2	5		0	0	4	2	区	市	町	村	名	東京	「都葛	5飾区	ζ.		
事	業所	等 0)所在	E 地	町以	名番	F 地 下	金町	T6-:	2-1														
事	業所	等の	延床	面積		7	,623	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の 		績 : 丿			の間		1年	度分			1年未活
所	*	Î	形	態		自己	1所	有] 他	1者列	斤有												
報	: 겉	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [‡]	邪(ラ	ーナ	ント	、)			〕	は物の	Ŋ— <u>₹</u>	部(-	その	他)
報	告範囲	圏の主	Eたる)	用途		事彩						商業			物具	坂)					施設	(飲	食)	
					Ш	工場	岃					複合	产他	汉					~	一 の作	11.			
	おける	る細さ		番号	6	9	3	1	連	鎖化	(事業	業区 2	分] [直営	店			加盟	显店			非該当
再の	生可利	能エ用	ネルニ 状	ギー 況				エネ すの設		_		再生 気の			ネル	レギ・	一電	,		証書の利	書によ 引用	:る雰	環境促	话值
前か	年度ら		股告户 変 更	勺 容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	33	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 8.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(示 奴	(t) =8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	131,633.0	9.76	1,284.7	0.4890	64.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,284.7		64.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	113.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	113.0			0.4000	0.0
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

1	地球温暖化対策の実施状況
4	

		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組組	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
// 32. //	W (T. 10) *> TE 100				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
エ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ネルバ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
N.					
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E141	太陽光発電設備の導入
	成 冊 诗 八 刈 水			E124	更新に合わせた高効率機器の採用

|--|

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$		t		
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項				

(日本産業規格A列4者	昝)

1 事業所等の概要

	J /1~//		,, ,																				
事	業所	等	の名	称	堀り	刃地	区も	こンら	7—														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	4	6				_					
					₹	1	2	4		0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都暮	葛飾区	•		
事	事業所等の所在は					名 番	ទ 地下	堀切]3-:	8-5													
事	業所等	等の3	延床面	ī積		1	,821	.53	m^2	事	業 ア ネ ノ	r 等 レギ	の 	実 <i>終</i> 使	漬 [年 制:		の間	■ 1年	度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所	有] 他	者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カのミ	全部		〕建	物の)—‡	邪(ラ	ーナ	ント	、)			〕建物	の一部	邪(そ	その	他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途			事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)																
						工場	景		□ 複合施設 ■ その他														
	本 標 おける					2	1	1	連	鎖化	(事美	美区 2	分		Ц	重営	店		□加盟	盟店		■ §	非該当
再の	生可能	指工. 用	ネルキ 状	· 况				エネ すの設		_		再生 気の			ネル	/ギ	一電	Ĺ	□証言の利	書によ. 別用	る環	境価	i値
前か	年度らる	の 報 り 多		容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	38	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 75	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) 41.1	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

							熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	19.3	45.00	0.9	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	153,505.0	9.76	1,498.2	0.4890	75.1
規貝	規則第5条の17第3項の場合のみなし		直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 1,499.1		75.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	919.0			0.2660	0.2
他				m^3	919.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策	度の実施状況

	地球		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
<i>\</i> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	戦 仲 同 ジ 走 佣				
~~ ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
エ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ネル					
ルギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
対策	設備保守対策				
策	取 佣 休 寸 刈 束				
				E141	太陽光発電設備の導入
	設備導入対策				
	以用等八八八				

	_	
実績年度の目標達成の状況		目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t	
	その他	特記事項に内容を記載	•		

<u>6</u> 特記事項			

ᄼᇦᆚᅷᄱᅝᅜᅜᅝᇫᇎ	T \
(日本産業規格A列4科	畨)

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	亀不	有学	び交	泛流的	館														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	2									
	VII	£1£1 _	/·		Ŧ	1	2	4		0	0	0	3	区	市	町	村	名	東京都葛原	飾区			
事	業所	等 0) 所 在	地	町夕以	名番	争 地 下	お花	茶屋	3-6	5-6												
事	業所等	争の多	延床面	〕 積		1	,830	.11	m^2	事	業 所 ネ ル	等シギ	の 	実 á 使	漬 [年 		の間	■ 1年度	分] 1年	手未満
所	有		形	態		自己	2所7	有		〕他	者所	洧						-					
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ナ	ント	、)			〕建物の	一部	(そ	の他)
鞀	告範囲	の主	ナス日	计余		事務	务所					商業	能	没(4	物具	反)			〕商業施	設(館	次食)	
						工場	<u>目</u> 勿					複合	施	没					▮その他				
に	本標おける	細	分類番	号	8	2	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		非	該当
再の	生可育	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書はの利用		環境	色価値	Ī
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	34	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 67	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 36.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	16,497.9	45.00	742.4	0.0136	37.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	61,792.0	9.76	603.1	0.4890	30.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,345.5		⁽¹⁵⁾ 67.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	576.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	576.0			0.4000	0.2
	_	合 計	•						0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記載	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

	1 /15//		,,																				
事	業所	等	の名	称	金町	丁保	健セ	こンら	7—														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	5				_					
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	4	2	区	市	町	村	名	東京都	葛飾区	_		
事	業所	等の	所在	:地	町以	名 番	地 下	金町	Г4 —	18-	19												
事	業所等	争の3	延床面	ī積		2	,325	.68	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の 	実 á 使	漬 [年 		の間	■ 1年	三度分			l年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者別	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—₽	邪(ラ	ーナン	ント	、)			〕建物	⊕	部(-	その	他)
却	告範囲	i n i	ナスト	日之		事務	所					商業	(施	没(4	物具	反)			〕商業	施設	(飲:	食)	
干区	口里四	リマンエ	1/2/3/7	1 (小		工場	<u>司</u> ガ					複合	施	没					その	他			
に	本 標 おける	細り	分類種	号号	8	4	1	1	連	鎖化	(事業					直営			口加	盟店		= 3	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 记				ピエネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギ	一電			書によ 利用	る環	境佃	値
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 44	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 85	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	<a>4 85	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 36.5	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	18,889.4	45.00	850.0	0.0136	42.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	87,759.0	9.76	856.5	0.4890	42.9
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,706.6		85.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	642.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	642.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

	J /1~//		,, ,																				
事	業所	等	の名	称	中青	青戸 [。]	保育	園															
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	4	9				_					
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	6	2	区	市	町	村	名	東京都	葛飾▷	ζ.		
事	業所	等 の	所在	地	町以	名 番	*地下	青戸	i3-:	8-8													
事	業所等	等の3	延床面	ī積			764	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	等シギ	の <u>:</u> -	実 á 使	漬 [年 制 :		の間	■ 1 ^左	F度分	,		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者所	洧											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	邪(ラ	ーナン	ント	、)			〕建物	J の一:	部(-	その	他)
华口	生統田	I D T	こたる用	1 次		事務	所					商業	(施)	没(4	物具	坂)			〕商業	施設	(飲	食)	
拟	口軋团	リマノエ	ニバンカ	1 匹		工場	<u>크</u> 77					複合	施調	没					■ その	他			
に	おける	5細分	뚵業分 分類番	号	8	5	3	1	連	鎖化						直営			□加	盟店			非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ の設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	/ギ	一電	Ĺ		書によ 利用	る雰	環境信	面值
前か		の 報 り 多	设 告 内 定 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	32	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 82.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	,,		使用		6	7	(a) = (a) / 1000 × (b) × (c)	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	14,013.6	45.00	630.6	0.0136	31.4
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	65,858.0	9.76	642.8	0.4890	32.2
規則	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,273.4		⁽¹⁵⁾ 63.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,402.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,402.0			0.4000	1.0
		合 計							1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

対策番号 対策名 対策名 A203 具体的な取組目標と内容の設定 A205 取組内容や点検体制の定理 A204 取組状況の点検体制の構築 A208 組織横断的な推進体制の整備 A204 取組状況の点検体制の構築 A208 組織横断的な推進体制の整備 A206 取組状況の点検体制の構築 A208 組織横断的な推進体制の整備 A207 取組状況の点検体制の構築 B103 時間的に詳細に把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 B106 過去のデータによる傾向の対 B106 ご本のデータによる傾向の対 C101 空室・不在時等のこまめな消灯 C108 温度計等による室温の把握 C109 空室・不在時等の空調停止 C112 季節に応じた外気導入量の C114 事務用機器を業務終了時に C114 事務用機器を業務終了時に B105 財務を省エネモードに設定 B106 過去のデータによる傾向の対 C107 P第1 P第1	
A204 取組状況の点検体制の構築 A208 組織横断的な推進体制の整備 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B103 時間的に詳細に把握 B105 エネルギー使用量の前年度比較 B106 過去のデータによる傾向の	
組織 体制 の整備 エネルギー等の使用状況の把握 B101 自ら入手可能な情報に基づく把握 B103 時間的に詳細に把握 B106 過去のデータによる傾向の対	
田	整備
使用状況の把握	
C106 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 C112 季節に応じた外気導入量の C109 空室・不在時等の空調停止 C115 事務用機器を業務終了時に C114 事務用機器を省エネモードに設定 グロー・ファックを関する。 0<	把握
C109 空室・不在時等の空調停止 C115 事務用機器を業務終了時間 で114 事務用機器を省エネモードに設定 当者 1 日101 ランプ等の定期的な清掃・交換 設備保守対策 2 設備導入対策 1 国標達成の状況 1 目標達成した。	屋と調整
正 用 対 策 (C114 事務用機器を省エネモードに設定 (工ネルルギー 対策	の適正化
運用対策 省エネルギー対策 設備保守対策 設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	に停止
エネルギー 対策 設備保守対策 設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
□ D101 ランプ等の定期的な清掃·交換 設備保守対策 設備導入対策 表積年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
策 設備保守対策 設備導入対策 設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	% t
6 特記事項	

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	子と	ごもき	未来	プラ	ザ銵	倉													
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	5	8									
					Ŧ	1	2	5	_	0	0	5	3	区	市	町	村	名	東京都葛飾	i区			
事	業所	等 0	所在	土地	町。	名番	争 地 下	鎌倉	11-	7-3													
事	業所等	等の)	延床面	面積			636	.42	m^2		業 ア ネ ノ	「等 レギ	の : _	実 絹 使	漬 : 	年] ;	度期	の間	■ 1年度	分		1年未	満
所	有		形	態		自己	2所4	有		〕他	者所	有							<u> </u>				
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)一岩	羽(ラ	ナ	ント)			〕建物の−	一部((その)他)	
却	告範囲	i o i	ナカスト	日之		事務	务所					商業	(施言	没(4	勿則	叉)] 商業施訂	殳(飲	(食)		
平区	口単凸	コマノゴ	-1-0F	1) 还		工場	<u>司</u> 勿					複合	施調	没					●その他				
に	本 標 おける	6細2	分類種	多号	8	5	3	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		直	Ĺ営	店		□ 加盟尼	Ė		非該	当
再の	生可能 利	能工 用	ネルコ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ 置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書に の利用		環境	価値	
前か	年度らる		设 告 内	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 72	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 111.5	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	1,819.2	45.00	81.9	0.0136	4.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	138,885.0	9.76	1,355.5	0.4890	67.9
規則	川第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,437.4		72.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,550.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,550.0			0.4000	1.0
		合 計							1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策		重点対策			その他対策
		対策番号	対策名	対	策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	Ē A	205	取組内容や点検体制の定期的改善
組糸	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A	1208	組織横断的な推進体制の整備
·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把	握 E	3106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	Ž		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	(C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	€ (C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	(C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設	定(CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			C	CA05	温度計等による室温の把握と調整
省				(CA15	不要な機器の電源オフ
ヨエネ				(CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー対策	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換			
	設備導入対策					
	 		□目標達成した。			
目	標の有無		無無			
		ベンチマー		シク	CO	2削減率(前年度比) %
目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量 その他	(延床面積当たり) k k k	g-CO ₂ /m 宏な記載		₂排出量(総量) t
	d la des also are	C V/IE	N LL FY(Cr)	47.6 1114	<u> </u>	
6	特記事項					

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	東四	<u></u> 回つ	木地	也区~	セン:	ター												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	5	5								
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都葛飾	区		
事	業所	等 ∅	所在	:地	町以	名番	* 地下	東匹	一つ木	:1-:	20-	4										
事	業所等	等の 🤅	延床面	ī積		1	,641	.00	m^2	事	業	了等 レギ	の <u>:</u> -	実 絹 使	漬 [年 月 :		の間	■ 1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	旨] 他	1者月	F有										
報	告		範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	邪(ラ	ーナン	ント	·)			〕建物の−	→部((その)他)
七口	告範囲	ω i	ナカスト	日之		事務	新					商業	(施言	没(华	物則	反)] 商業施設	设(飲	(食)	
平区	口地四	マノユ	11001	1 (小		工場	型 切					複合	施調	没					●その他			
に	本 標 おける	細	分類種	号号	8	2	1	1		鎖化	(事業					直営			□ 加盟店	1		非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 记			:可能 記設備		ルギ 置			再生 気の			ネル	ギ	一電		□ 証書に の利用		環境信	 面值
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	31	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 61	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 37.1	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.LAL	都市ガス			Nm^3	120.8	45.00	5.4	0.0136	0.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	126,090.0	9.76	1,230.6	0.4890	61.7
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 1,236.1		61.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	445.0	/		0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	681.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対	対策			その他対	策
		対策番号		対策名		対策番号	対	策名
		A203	具体的な取組	.目標と内容の部	定	A205	取組内容や点検	体制の定期的改善
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推	進体制の整備
T	ネルギー等の	B101		な情報に基づく		B103	時間的に詳細に	把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度と	ú較	B106	過去のデータに。	よる傾向の把握
		C101	空室•不在時	等のこまめな消火	Ţ	C108	温度計等による	室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変	変更	C112	季節に応じた外外	気導入量の適正化
		C109	空室•不在時	等の空調停止		C115	事務用機器を業	務終了時に停止
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA01	空室•不在時等の	りこまめな消灯
	運用対策					CA06	季節に応じた外外	気導入量の適正化
省						CA15	不要な機器の電	源オフ
ロエネ						CA25	その他設備の不	使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定力	朝的な清掃・交打	<u></u> 奥			
対 策	設備保守対策							
	設備導入対策							
実績	 	の状況	□目標達	成した。]			
5 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無	1				
Н	11 VW	ベンチマー			ランク	CO:	削減率(前年度比)	%
日村	票値等(選択)		<u>(延</u> 床面積当たり)		kg-CC		排出量(総量)	t
H 1		その他		特記事項に		-	加里(心里)	C
		Cole		小町子気に	1747	口中人		
6	特記事項							
0	14 III - X							

1 事業所等の概要

	J // //		,,, ,																					
事	業所	等	の名	称	高矿	少地	区セ	こンら	7—															
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	0	8				_						
					₹	1	2	5		0	0	5	4	区	市	町	村	名	東京都	都葛飾	i区			
事	業所	等の	所 在	地	町以	名 番	地 下	高砂	3-	1-3	9													
事	業所等	争の3	延床面	〕積		2	,604	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	「 等 ン ギ	の 一	実 á 使	績 [〕	年 制 :		の間	1	年度	分] 14	年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	者所	洧						-						
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一音	阝(ラ	ーナ	ント	、)			〕建物	物の-	一部	(そ	の化	拉)
報	告範囲	の主	たる用	禄		事務	所					商業	施	没(4	物具	坂)			〕商	業施証	殳 (食	欠食)	
						工場	크 7					複合	施調	没					● その	の他				
に	本 標 おける	細り	分類番	号	8	2	1	1	連	鎖化	/事業	美区分	分		Į Į	直営	店			加盟尼	ij		▮∄	誌当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	/ギ	一電	Ĺ		証書に の利用		環境	竟価値	値
前 か	年度らる			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	32	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.1	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	新型 (1997 18)	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	/3/W.L. rd ->	三次1	使用	1 124	6	7	(CJ) (8=(6/1000)×7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.[.4:].	都市ガス			Nm^3	11,884.1	45.00	534.8	0.0136	26.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	75,624.0	9.76	738.1	0.4890	37.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,272.9		63.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	757.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	757.0			0.4000	0.3
		合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策		重点文	対策			その他対策	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		対策番号		対策名		対策番		· 策名
		A203		目標と内容の影	定定	A205	取組内容や点検付	
組糸	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推進	単体制の整備
	L , W th o	B101	自ら入手可能	な情報に基づく	把握	B103	時間的に詳細に持	巴握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使	用量の前年度と	比較	B106 B108	過去のデータによ エネルギー等情幸	
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消火	汀	C108	温度計等による室	温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ変	変更	C112	季節に応じた外気	(導入量の適正化
		C109	空室•不在時等	等の空調停止		CA01	空室•不在時等の	こまめな消灯
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA06	季節に応じた外気	(導入量の適正化
	運用対策					CA15	不要な機器の電源	原オフ
省						CA25	その他設備の不何	 再時の停止
エネ								
ルギー		D101	ランプ等の定類	期的な清掃・交持	<u></u> 奥			
対策	設備保守対策							
	設備導入対策							
	 責年度の目標達成		目標達	成した。]			
5 目	提出年度の地球 標の有無		東の日標	1				
Р		ロ インチマー			ランク	C	O ₂ 削減率(前年度比)	%
日村	票値等(選択)		(延床面積当たり)				O ₂ 排出量(総量)	t
口仍	京胆守(医が)	その他	(延床曲傾目だり)	特記事項に	kg-CC	-	○27月11年(総里)	ι
				14T al . 11 11 11 11				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	新生	小岩	地域	活動	動セ	ンタ	_												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	6	1									
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	2	5	区	市	町	村	名	東京都葛蝕	布区			
事	業所	等 0	所 在	地	町。以	名番	地下	西新	小岩	¦4-:	33-	2											
事	業所等	等の き	延床面	ī 積		3	,256	.00	m^2	事	業	了等 レギ	の <u>:</u>				度期	の間	■ 1年度	分		1年末	卡満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁											
報	告		範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	邪(ラ	ーナン	ント	、)			□ 建物の-	一部	(その	の他)	
七口	告範囲	i on t	ーたスH	日次		事務	新					商業	(施言	没(4	物具	反)] 商業施	設(食	欠食)		
平区	口即四	マノエ	ニバニタカ	1 100		工場	型 切					複合	施調	没					■その他				
に	本 標 おける	細	分類番	号	9	8	2	1	連	鎖化	(事業					直営			□ 加盟/	吉		非該	当
再の	生可育	もエ 用	ネルキ 状	· 況			:可能 記設備		ルギ 置			再生 気の			ネル	/ギ	一官	Ē	□ 証書に の利用		環境	価値	
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	128	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	249	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 250	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 76.4	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の)種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	WW1 4 6	/1至//-1	使用	半旦	6	7	(GJ) (8=(6)/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
.[.4:].	都市ガス			Nm^3	45,420.2	45.00	2,043.9	0.0136	101.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	300,962.0	9.76	2,937.4	0.4890	147.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					4,981.3		⁽¹⁵⁾ 249.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,319.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,918.0			0.4000	1.2
		合 計							1.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		で実施状	重点対	策			その他対策	 策
		対策番号		対策名		対策番号		
		A203	具体的な取組		设定	A205	取組内容や点検	
0 □ ⟨	並 4 別 の 數 供	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推済	生体制の整備
îH. î	織体制の整備							
	ネルギー等の	B101	自ら入手可能を	な情報に基づく	把握	B106	過去のデータによ	る傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用	用量の前年度は	比較	B108	エネルギー等情報	₩の対策への活用
		C101	空室•不在時等		灯	C108	温度計等による室	<u></u> 国温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を	都の推奨値へ	変更	C115	事務用機器を業績	
		C109	空室•不在時等	等の空調停止		C116	個人用端末の不	 用・離席時の停止
		C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA01	空室•不在時等の	こまめな消灯
	運 用 対 策					CA05	温度計等による室	
省						CA15	不要な機器の電流	原オフ
日エ						CA25	その他設備の不信	- 吏用時の停止
ネル								
ギー		D101	ランプ等の定期	明的な清掃・交	換			
対策	設備保守対策							
						E141	太陽光発電設備	の導入
	設備導入対策							
実績	責年度の目標達成	の状況	□目標達成	成した。	1			
Ξ.	提出年度の地球	沙田昭小去	+等の日輝		_			
5 目		□ 有	■無					
		ベンチマー	ク区分		ランク	CO2	削減率(前年度比)	%
目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)		kg-CC	O_2/m^2 CO_2	排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	_	-		

(日	本産業規格A列4番)

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	金田	丁駅	前泪	動	セン	ター												
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	6	2								
					Ŧ	1	2	5		0	0	4	2	区	市	町	村	名	東京都葛飾区	<u> </u>		
事	業所	等の	所 在	地	町。	名番	予地 下	金町	T6-	5-1												
事	業所等	等の	延床面	面積		1	,230	.00	m^2	事	業 ア ネ ノ	等シギ	の <u>:</u> -	実 á 使	責 ³ 用	手, 】 j		の間	■ 1年度分] 1年	=未満
所	有	•	形	態		自己	1所1	有] 他	者別	洧										
報	告	2	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一音	邪(ラ	ーナン	ント))] 建物の一	部(そ	の他)
報	告範囲	の主	三たる月	月途		事務 工場						商業 複合			勿販	į)			〕商業施設 ■ その他	飲食	()	
	おける	5細		号号	8	2	1	1	連	鎖化	(事美	美区2	分		直	営	店		□ 加盟店		■非	該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ 置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電		□ 証書によ の利用	る環境	竟価値	İ
前か			是 告 内	容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エ	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 42	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	4 81	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5) (65.8)	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	167,137.0	9.76	1,631.3	0.4890	81.7
規則	川第5条の17第3項	更の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,631.3		⁽¹⁵⁾ 81.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	637.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	738.0			0.4000	0.3
	-	合 計	`	·					0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改
組;	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
) (用状況の指揮			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯
	運用対策			CA06	季節に応じた外気導入量の適正化
省				CA15	不要な機器の電源オフ
ロエネ				CA25	その他設備の不使用時の停止
ルギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
- 対		D101	フィン 寺の足別印が名信仰・文映		
策	設備保守対策				
	設備導入対策				
実統	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
<u>5</u> 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無		
Н	你 少 日 灬	ベンチマー		7 CO	週 削減率(前年度比)
日杉	票値等(選択)				排出量(総量) t
口化	宗胆寺(医八)	その他			27/111 里 (松里)
		その他	特記事項に内容を	ど記戦	
6	特記事項				
0	11110年1天				

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	た~	つみ′	保育	園														
事	業	所	番	号	А	0	8	6	4	_	0	0	5	0			_					
					Ŧ	1	2	4	_	0	0	2	5	区	市町	· 村	名	東京都	葛飾区	ζ.		
事	業所等	等の	所 在	地	町。	名番	地 下	西新	小岩	†2-	1-3											
事	業所等	手の変	正床面	ī積			745	.15	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の 	実 á 使	責 年 用	度期	の間	■ 1年	F度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	1所7	旨] 他	1者別	桁										
報	告	:	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—₽	邪(ラ	ーナン	ント)			〕建物	ブの一 音	部(~	その作	也)
七口	告範囲	の土	たる日	1 次		事務	所					商業	纟施言	没(集	勿販)			〕商業	施設	(飲1	食)	
和	口軋团	い土	ルのカ	一		工場	<u>司</u> 刃					複合	施	没				その	他			
に	本 標 : おける	細り	類番	号	8	5	3	1	連	鎖化	(事業	業区 2	分		直常	営店		□加	盟店		■ ∌	非該当
再の	生可能	ミエ <i>ス</i> 用	ネルキ 状	· 记				エネ の設	ルギ :置	_		再生 気の			ネルギ	一電			書によ 利用	:る環	境価	値
前か	年度の			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	33	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 65	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 87.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量**1	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
. L . L .	都市ガス			Nm^3	3,827.0	45.00	172.2	0.0136	8.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2003	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	116,903.0	9.76	1,141.0	0.4890	57.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2} kWh		0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
合 計				1,313.2		65.8			
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,709.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,709.0			0.4000	1.5
合 計							2.5		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点太	対策		その他対策		
		対策番号		対策名		対策番号	対策名	
		A203	具体的な取組	目標と内容の認	定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
組糸	織体制の整備	A204	取組状況の点	検体制の構築		A208	組織横断的な推進体制の整備	
v	ネルギー等の	B101	自ら入手可能	な情報に基づく	把握	B103	時間的に詳細に把握	
	ポルキー等の用状況の把握		エネルギー使	用量の前年度は	比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
1,	11 1/1 1/2 1/2 1/2					B108	エネルギー等情報の対策への活用	
		C101	空室•不在時等	等のこまめな消失	灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更			C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
		C109	空室・不在時等の空調停止			C113	中間期における外気冷房の実施	
省エネルギ	運用対策	C114	事務用機器を	省エネモードに	設定	CA01	空室・不在時等のこまめな消灯	
						CA06	季節に応じた外気導入量の適正化	
						CA15	不要な機器の電源オフ	
						CA25	その他設備の不使用時の停止	
		D101	ランプ等の定期	朝的な清掃・交換	煥			
対策	設備保守対策							
ж	BY MILL 1 MINK							
	設備導入対策							
	is via day and all							
				h	7			
実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成	或した。	_			
5 目	提出年度の地球 標の有無		策の目標 ■ 無	7				
Н	(水 () 円 (水	ベンチマー			ランク	CO	2削減率(前年度比) %	
目標値等(選択)								
		CO ₂ 排出量(延床面積当たり) その他		特記事項に	kg-CC		2排出量(総量) t	